

高機動無人航空機開発プロジェクト

高機ドローン

プロジェクトの背景と目的

近年、飛行型ドローンが個人で手軽に制作できるような環境ができておりさらに、ドローン業界の規模自体もどんどん拡大しており技術も多岐にわたるようになってきた。ドローンには、大きく分けて産業用のドローンとレース用ドローンがある。特にレースは全世界で多くのレースが行われており、日本でのレースも盛んである。そこで、高機ドローンではレース用の高機動の無人航空機を開発する。



制作したドローン

ドローンレース

我々が参加するレースは墜落せずにゲートやスラロームなどの障害物を通り、ゴールに到達するまでのラップタイムを競うものである。レースで使用されるドローンにはカメラが搭載されており、撮影した映像をリアルタイムに送信し、パイロットがHMD(ヘッドマウントディスプレイ)にてこの映像を見ながらドローンの視点で操縦を行うという特徴がある。

ドローンの制作と2019年度の活動内容

今年度は前年度と比べてドローンの性能を上昇させつつも前年度以上に多数の機体を作成した。また今年度は複数のレースに出場した。さらに今年度から硫黄島でのドローン教室イベントを開催し活動の幅を広げることに成功した。新しく入った部員も無線免許を無事取得できた。



2019年3月に開催されたカイトコーポレーション主催のレース大会の様子

結果報告、目標

兵庫で開催されたドローンレースにおいて、四名が出場し、内二名が準優勝とベスト8入賞をそれぞれ果たした。来年度の目標としては引き続きレースへの出場と硫黄島で開始したイベントの継続、そして小型ドローンを用いた空撮やレースに活動を広げることである。